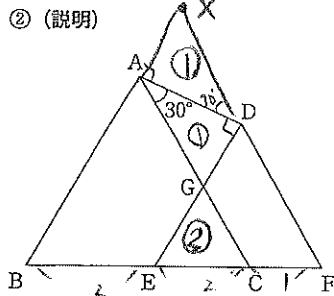


令和6年度

算数解答用紙

- 1 (1) ① 7 個 ② ウ 11 エ 15 オ 77 (2) $(11, 49\frac{1}{11})$ $(44, 32\frac{8}{11})$
- (3) ① 6 通り ② 20 通り ③ 36 通り (4) ① 三角形AGD : 三角形GEC = 1 : 2

(4) ② (説明)



三角形XBFは1辺が5cmの正三角形
 三角形AGDと三角形DXAは面積が等しい
 (4) ① から 四角形AGDXと三角形GECは面積が等しい
 だから三角形ABEと三角形DEFの面積の和は三角形XBFと等しい
 だから1辺が3cmの正三角形と1辺が4cmの正三角形の面積の和は
 12の長さから5cmの正三角形の面積と等しい

- 2 (1) 1620 度 (2) 31.4 cm (3) 答 ウの方が 226.08 cm² 大きい

(3) (答えの出し方)

イの面積は 1辺 6cmの正三角形11個 + 半径 6cmのおうぎ形合計 $1620 - 120 \times 11 = 300$ 度分
 ウ " " は 1辺 6cmの正三角形11個 + 半径 6cmのおうぎ形合計 $360 \times 11 - 1620 - 120 \times 11 = 1020$ 度分
 だから ウ - イ = $6 \times 6 \times 3.14 \times (1020 - 300) \div 360 = 226.08$

- 3 (1) 100 個 (2) 141 個 (3) ② 96 個 ← それぞれ 4×4, 6×6, 8×8 の 平行四角形の中心に入る 数と(2)の結果が利用できる
- (3) ①